

INVESTMENT
OPPORTUNITIES
IN KOREA

自動車部品



目次

1. 産業の動向・1

- 1.1 韓国市場の動向・1
- 1.2 産業競争力・3
- 1.3 韓国における有望分野・4

2. 外国人直接投資の動向・5

- 2.1 外国人直接投資の現況・5
- 2.2 主要外国人投資企業の成功事例・6

3. 政策・立地・8

- 3.1 主要政策・インセンティブ・8
- 3.2 主要立地・9

4. 潜在的なパートナー・11

- 4.1 関連企業リスト・11
- 4.2 関連協会・13

- * 本報告書上の数値はウォン（KRW）からドル（USD）に年度別の平均為替レートを基準で変換した。但し、年平均成長率を説明する場合、直近年度の平均為替レートで換算した。
- * 換算した金額は四捨五入した上で表示したが、合計金額と一致しない場合、切り上げや切り捨てを適用した。



1 産業の動向

産業の定義・分類

- (産業の定義) 自動車部品産業には動力発生装置、動力伝達装置、懸架装置、ステアリング装置、ブレーキ装置、電気電子装置、車体部品など自動車の構成に欠かせない部品や、サブコンポーネントを組み立てて自動車を構成する中間段階の部品などが含まれる。
- 最近では電気を動力源とする電気自動車、プラグインハイブリッド車、燃料電池自動車などの電気自動車や自動運転システムなどの新しい技術が自動車に適用され、バッテリーやモーター、インバーター、車載用半導体、レーダー、ライダー (LiDAR)、カメラモジュールなど自動車部品の範囲はますます拡大する傾向にある。

自動車部品の分類

分類の基準	内容
機能別	車体 (パネル、ドア、バンパーなど) 動力発生装置 (エンジン本体、燃料装置、吸気・排気装置、冷却装置など) 動力伝達装置 (変速機、アクスル、クラッチ、ギア類など) 懸架装置 (Shock-absorber、スプリング、クロス/サイドメンバーなど) ステアリング装置 (ステアリングギア、コラム/シャフト、ステアリングホイールなど) ブレーキ装置 (ブレーキシステム、ディスク、ドラム、シリンダーなど) 電気電子装置 (バッテリー、配線、モーター、スイッチ、センサー、ランプ等) その他 (エアコン、ヒーター、タイヤホイール、ワイパー、ゴム製品、シート、エアバッグなど)
製造工程別	鋳造品 (シリンダーブロック、シリンダーヘッド、ピストンリング、ブレーキドラムなど) 鍛造品 (クランクシャフト、カムシャフト、コネクティングロッド、アクスルシャフトなど) 機械加工品 (ピストンピン、ベアリング類、ボルト類など) プレス加工品 (ホイールディスク、燃料タンク、車体部品、フレームなど) 組立部品 (ラジエーター、燃料噴射装置、エアクリーナ、キャブレターなど)

1.1 韓国市場の動向

自動車部品産業の現況

- 韓国の自動車部品産業は2014年まで成長を続けてきたものの、最近では完成車市場の低迷が続き、2018年の売上高は前年比で1.7%減少の648.9億ドルとなった。
 - 自動車部品産業の売上高は前方産業 (販売及びセットメーカー) の成長に後押しされて着実に成長し、2010年の534.4億ドルから年平均2.2%水準の安定した成長ぶりをみせている。
 - 部分別ではOEMの売上高が424.4億ドル、輸出が194.4億ドル、AS部品が29億ドルでOEMの売上高が65.4%を占めており、輸出は30.0%、AS部品は4.6%を占めている。
- 2018年における自動車部品の輸出額は231億ドルと、前年比で0.1%減少し、グローバル的な自動車需要の減少や韓国完成車メーカーの海外生産の縮小で、韓国における部品の輸出も減少する傾向にある。
 - 輸出全体における自動車部品産業輸出の割合は3.8%と高い方であり、貿易収支の黒字も177億ドルに迫っている。
 - 主な輸出品目は他の自動車部品、変速機、他の車体部分品、ブレーキ装置や部品などであり、核心的な部品と言える変速機やブレーキ装置の部品、駆動車軸の部品が増加する傾向にある。

韓国自動車産業の現況（2017年現在）

区分	メーカー数 (社)	雇用 (千人)	生産額 (億ドル)	付加価値 (億ドル)	輸出 (百万ドル)	貿易収支 (百万ドル)
完成車産業	30	94	810	220	40,887	28,787
割合	0.04%	3.2%	6.0%	4.6%	6.8%	
自動車部品産業	4,575	258	898	266	23,119	17,701
割合	6.6%	8.7%	6.7%	5.6%	3.8%	

資料：韓国統計庁、貿易協会

注：1) メーカー数、雇用、生産額、付加価値は2017年（2017年の年平均為替レートを適用）、輸出と貿易収支は2018年現在

2) 割合は製造業における割合である。ただし、輸出の場合は輸出全体に占める割合である。

- 自動車部品の主要輸出先は米国、中国、メキシコ、ロシア、スロバキアなど、韓国完成車メーカーの海外生産工場がある国々である。
 - 米国は自動車部品輸出の25.8%（2018年現在）を占めており、GMやクライスラーなど現地完成車メーカーの出荷量の増加や韓国完成車メーカーの現地生産に伴い、韓国における部品需要の増加が主な要因となっている。
 - 中国の場合、近年ローカルメーカーの競争力が上がるにつれ韓国完成車メーカーの現地生産が減少し、韓国における部品の需要も大きく減少しているものの、米国に次ぐ第2位の輸出国（12.8%）であるため、中国ローカルメーカーの出荷量を増やす方策を模索している。
 - メキシコの場合、北米の自動車生産基地化によって自動車の生産が急増しており、韓国自動車部品の主要輸出国として浮上している。
- 2018年現在で、自動車メーカーと直接取引をしている1次協力会社の数は前年比で2.4%減少の831社であり、そのうち大手企業は257社（30.9%）、中小企業は574社（69.1%）である。（自動車産業協会組合基準）
 - 専門化かつ大型化された専門部品メーカーはグローバルな水準の技術力で変速機、アクスルなどの核心的な部品を生産しており、グローバル完成車メーカーとの取引を増やして中国、米国などでの現地生産を通じて売上を増やしている。
 - 韓国における2次部品メーカーの数は約3,000社と推定されており、そのほとんどが中小企業で、専門度の低い3次部品メーカーも含めると6,000社以上のメーカーが自動車産業のサブコンポーネントを供給している。

自動車部品産業におけるトレンドの変化

- 米国、欧州など先進市場の需要が低迷する中、グローバル自動車需要を牽引してきた中国市場の需要も減少に転じており、自動車メーカーや各国政府は電動化、自律走行、モビリティといったパラダイムの変化を通じて自動車産業の持続的な成長を図っている。
 - 成長がやや低迷している韓国の自動車産業も、従来型成長パラダイムの限界や産業の構造的な低迷を克服するため、自動車産業の革新的な成長戦略を展開している。
 - 社会全般における環境問題の浮上や環境規制の強化によってガソリン車中心の産業構造がハイブリッド車、電気自動車などに変わり、電動化や自動運転、モビリティなどによって自動車技術の範囲が従来の機械分野からIT、通信、ソフトウェアなどに拡大している。
- 自動車産業の環境が変化し、完成車主導型の成長戦略から部品、ソフトウェア関連企業とのネットワーク構築を通じた成長戦略へと変化し、完成車-部品供給会社間の垂直関係が弱まって水平的な協力関係（Collaboration）に変わっている。
 - 部品産業も電動化や自動運転パラダイムの拡散によってIT、電子、化学、エンターテインメント、半導体など異種産業の参加が増え、役割が増大している。

1.2 産業競争力

◆ 韓国自動車産業におけるグローバル競争の現況

- IHS*によると、韓国は中国、日本、米国、ドイツなどに次ぐ世界5大自動車部品生産国（2017年現在）である。
 - * IHS (IHS Markit) : 主要産業や市場の情報、展望などを提供し、個別企業の財務関連分析資料などを提供するロンドン所在のグローバル市場調査会社
- 韓国の自動車部品産業がグローバル部品生産額に占める割合は、2000年の2.1%から2005年に3.1%に上昇し、2017年には5.1%を占めた。
- 自動車部品の輸出も大幅に増加し、2000年現在で世界自動車部品の輸出に占める割合は1.1%に過ぎなかったものの、2017年には3.7%まで上昇した。
- 完成車の場合にはメキシコ、インドなどの新興自動車生産国に遅れを取って7位に下落したものの、部品のエコ化やスマート化に伴う先端化、モジュール化で差別化を図り、世界第5位の生産国の地位を維持している。
- 2018年現在の世界100大自動車部品メーカーのうち（売上高基準）、韓国の部品メーカーは6社が100大部品メーカーに選定されており、その6社の売上高は533億ドルで、100大部品メーカーの売上高の6.2%を占めた。
 - 現代モービスは256億ドルで前年より2.6%増加して7位、現代ウィアが77億ドルで36位、現代トランスが75億ドルで38位、ハンオンシステムが53億ドルで46位、マンドが52億ドルで47位、現代ケピコが17億ドルで96位を占めた。

世界100大自動車部品メーカーのうち、韓国メーカーの順位（売上高基準）

（単位：百万ドル）

2010		2013		2018	
会社名	納品額	会社名	納品額	会社名	納品額
現代モービス (9位)	14,433	現代モービス (6位)	24,677	現代モービス (7位)	25,624
現代ウィア (45位)	4,115	現代ウィア (35位)	6,741	現代ウィア (36位)	7,758
マンド (53位)	3,827	マンド (43位)	5,145	現代トランス (38位)	7,574
現代ダイモス (92位)	1,338	現代パーテック (54位)	3,885	ハンオンシステム (46位)	5,396
		現代ダイモス (76位)	2,434	マンド (47位)	5,219
				現代ケピコ (96位)	1,754

資料：Automotive News

◆ 韓国自動車部品産業における発展の可能性

- 韓国自動車産業における産業間融合の加速化により、部品メーカーが自動車産業に占める割合も増加している。
 - 生産額の場合、2010年現在で完成車と部品の自動車産業に占める割合はそれぞれ53.1%と46.9%で完成車の方が高かったが、2017年には完成車が47.4%、部品が52.6%となった。
 - モジュール化の拡大、電装部品の採用増加に伴う部品産業の役割の拡大、便宜装置の高級化に伴う高付加価値化の傾向やグローバル化の進展に伴う部品産業の輸出産業化の影響で部品産業の売上高が増加したことに起因する。
- 韓国は部品において強力な基盤を有しており、IT強国として自動車のスマート化に対応できる能力を持っている。
 - 年間400万台以上の自動車生産の経験をもとに構築された自動車産業の生態系は、産業の持続的な発展に向けた基盤となっている。
 - IT産業が発展しているため、自動車産業全般のIT融合も迅速かつ効率的に進められると予想される。



1.3 韓国における有望分野

- 今後グローバル自動車産業はインド、メキシコなどが一般自動車や汎用部品分野で競争力をつける一方、日本やドイツなどの先進国は電気自動車、自動運転車などの分野で競争力を確保する展開になると予想される。
 - 中国などの後発メーカーが現在韓国が優位を占めている中・小型乗用車などの分野で競争力をつけ、韓国は電気自動車や水素燃料電池車、自動運転車や関連部品分野で競争優位を確立し、日本やドイツなどの自動車先進国との競合が予想される。
 - 韓国の自動車産業が電気自動車や自動運転車、関連部品の競争力確保に取り組む一方、先進国は本格的に普及が始まる未来型自動車市場で優位を占めることに集中している。
 - 電気自動車や自動運転など、自動車産業におけるパラダイムの変化によってグローバル電気自動車市場は年平均46%増加し、2022年には450万台規模の市場が創出されると予想されており、自動運転車市場も2016年の44.8億ドルから2021年には1,370億ドルの水準に成長する見通しである。
- 韓国政府は電気自動車や自動運転車など未来車産業の革新を通じて成長の基盤を作るため、未来車産業の発展戦略を策定し、今後5年間官民合同で318億ドルを投資する計画である。
 - (電気自動車普及時代の早期開幕) 電気自動車ユーザーの受容性を高めるための走行距離や充電インフラの確保、普及の拡大に向けた補助金・インセンティブシステムを運営
 - (自動運転車における世界水準の競争力確保) 自動運転の技術力確保に向けた核心的な部品の国産化、実証団地の造成、人材育成及び標準化、国民体感型のモデル事業を推進
 - * 自動運転における9大核心部品の国産化計画：前方・側方映像センサーモジュール、77 /79GHzデュアルバンドレーダー、低価格のライダーセンサー、事故データ記憶装置 (ADR)、V2X通信技術、デジタルマップ、普及型複合測位、運転者-自動車インターフェース (HVIモジュール)、統合DCU (Domain Control Unit)
 - (未来車を基盤にした新産業・雇用創出) 新しいサービス市場の創出、電気自動車基盤の新しいサービス産業の実証、韓国型ゲームチェンジャーの発掘・育成などの核心事業を推進
 - (水素自動車の普及による水素経済の活性化) 水素自動車量産システムの構築・普及を拡大して自動車用の燃料電池システムモジュール市場を先取りし、グローバル市場への輸出を推進
 - * 2040年には水素自動車を620万台 (国内290万台、輸出330万台) 普及させ、水素ステーション1200カ所を構築する計画
- 韓国自動車産業の有望な技術分野はハイブリッド車や電気自動車、水素燃料電池車のような電気自動車や関連部品、韓国の優れたIT技術に基づいた自動運転車や関連部品である。
 - 現在は初期段階であるハイブリッド車や電気自動車などの電力基盤の車は、2025年に本格的な商用化が進むものと思われ、今後の技術開発の水準が未来車市場における将来性を左右することが予想される。
 - 環境課題対応で有望な分野は自動車の軽量化技術であり、主として新素材の開発及び技術が注目されている。
- 韓国自動車部品産業においても、従来の内燃機関関連部品から電気動力・自動運転車の部品中心へと変化している。
 - 韓国の代表的な完成車メーカーである現代・起亜自動車は電気自動車のラインナップを拡大し、2020年に電動化専用プラットフォームであるE-GMP (Electric-Global Modular Platform) を開発して2025年には44車種に増やし、販売全体の25%水準である年間167万台を販売する計画である。
 - 現代・起亜自動車は2019年上半期に66,578台の電気自動車 (Plug-in Hybrid Electric vehicle (PHEV)、Battery Electric Vehicle (BEV)、Fuel Cell Electric Vehicle (FCEV)) を販売し、売上高全体の1.9%を占めている。

- 自動運転技術の高度化に向けてインテル、NVIDIA、百度などと協力して関連スタートアップを買収するなど、運転者が手動運転に復帰できない状況でも安全な自動運転ができるレベル4の自動運転車を2022年までに発売する計画である。
- 自動車産業パラダイムの変化への対応や、新たな機会を探る戦略的な投資として電気自動車分野に投資を行い、関連部品も有望分野として浮上している。
 - バッテリーセル、バッテリーモジュール、バッテリー管理システム（BMS：Battery Management System）、車載充電モジュール（OBC：On Board Charger）などは電気自動車市場の拡散によって需要が増加しており、政府の技術開発支援もこれらの分野に重点を置いて進められている。
 - 水素燃料電池車は世界初の商用化に成功したものの、核心的な部品の基盤素材技術や燃料電池スタックのうちメンブレインなどは韓国メーカーの技術力が低いとされており、国産化率の向上に向けた政府の研究開発支援が続く見通しである。
 - 生産された電気を駆動に合わせて変換する駆動モーター、回生ブレーキシステム、電動ウォーターポンプ、減速機、電力変換装置、振動低減装置などは電気自動車や水素燃料電池車などの電気自動車への共有化が可能であるため、有望な分野とされている。
- 韓国の電子・情報通信技術を自動車業界に適用すると、自動車電装部品とそれを基盤とするスマート自動車は今後の有望分野として浮上するものと見られる。
 - ITを活用した自動車の安全性や利便性に関する機能の向上は持続的に推進され、自動運転車に進化することが予想される。
 - 現在のスマート自動車技術は運転者支援技術、データ融合技術を中心に開発が進められており、自動車用半導体やセンサー、各種制御ユニットなど自動車用基礎のIT部品やソフトウェアなどが有望分野として浮上している。

2 外国人直接投資の動向

2.1 外国人直接投資の現況

- 2018年における韓国自動車部品産業の外国人投資は申告基準で7件、7.18億ドルの水準である。
 - グローバル自動車産業の成長低迷で外国人投資も停滞しているものの、韓国自動車産業のバリューチェーン参加に向けた投資が継続的に行われている。
 - 韓国は米国、EU、オーストラリアなどの主な自動車需要国と自動車市場を開放するFTAを締結しており、税制上の利点を活用するための域外諸国メーカーの投資も活発である。
 - 電気自動車、自動運転車などの分野において、技術力はあるが資本や経験が不足している韓国企業向けの外国人投資が期待されている。

自動車産業における年度別外国人投資の現況

(単位：千ドル、件)

区分		2013	2014	2015	2016	2017	2018
完成車	金額	799,563	10,000	186,000	755,924	504,763	3,674
	件数	6	1	3	6	6	2
自動車部品	金額	289,075	142,157	110,998	171,068	322,344	718,173
	件数	43	45	29	33	42	7

資料：韓国産業通商資源部
注：申告基準

2.2 主要外国人投資企業の成功事例

◆ 主要外国人企業による投資の現況

- 2018年現在で163社の外国人投資企業が活動しており、1次部品メーカーの19.6%を占めている。
 - 世界10大自動車部品メーカーのほとんどが韓国の自動車部品産業に投資しており、それぞれ複数の韓国所在の子会社を保有している。
 - 米国のDelphi、Visteon、ドイツのBosch、ZF、日本のカルソニックカンセイ、Denso、フランスのValeoなど世界的な企業が韓国に投資している。
 - 外国人投資企業は主に技術力の高い核心部品を中心に供給しており、親会社の交渉力が高いため営業利益率が業界平均を上回っている。
- 先進国の自動車部品メーカーは、韓国をグローバルネットワークの重要な軸として活用するために投資を行っている。
 - 韓国の大手企業と協力モデルを構築し、バリューチェーンに参加することを目的として前方（販売及びセットメーカー）・後方（素材及び部品メーカー）の関連産業に投資しており、半導体や自動車部品、精密機械など韓国の主力産業を中心に外国人投資が進められている。
 - 韓国の完成車メーカーの場合、従来の内燃機関車はもちろん電気自動車、水素燃料電池車といった電気自動車や自動運転車に対する商用化も急速に進められており、未来市場の確保という観点から韓国の自動車部品産業に投資を行っている。

世界の主要自動車部品メーカーの韓国進出の現況

国名	親企業名	韓国企業名	所在地	生産品目	韓国の従業員数
ドイツ	コンチネンタル	コンチネンタル オートモーティブシステム	利川	ECU	1,075
		コンチネンタルオートモーティブ エレクトロニクス有限会社	世宗	Cluster, Sensor	682
	MAHLE	MAHLEトンヒョン フィルターシステム (株)	華城	Filter (Oil, Fuel, Air), Plastic Intake Manifold	581
		MAHLEベアコリア	釜山	自動車のエンジン冷却装置、空調	162
	BOSCH	ロバート・ボッシュ・コリア 有限会社	大田	ディーゼルエンジンの電子制御装置、 関連部品	1,237
		ボッシュ電装	世宗	自動車用小型電気モーター、モーター制御装置	541
	ZF	ZFザックスコリア	昌原	Shock Absorber	338
		ZFLK	亀尾	自動車の車台（シャシ）、緩衝装置	63
MANN+HUMMEL	MANN+HUMMELコリア	原州	Filter (Oil, Fuel, Air, Auto T/M Oil)	332	
米国	ボルグワーナー	韓国ボルグワーナーTS	陰城	Disk Set, Oneway Clutch	435
	クーパースタ ンダード	クーパースタ ンダード オートモーティブ・コリア	舒川	weather strip	203
	フェデラル モーグル	トンソフェデラルモーグル	安山	Piston, Piston Pin	310
		フェデラルモーグル世宗	世宗	エンジンベアリング	326

国名	親企業名	韓国企業名	所在地	生産品目	韓国の従業員数
日本	デンソー	デンソー코리아 オートモーティブ (株)	昌原	自動車用冷房・暖房品、モーター類、電装品	1,255
	安永	韓国安永 (株)	益山	Crank Shaft, Connection Rod	36
	カルソニック カンセイ	カルソニックカンセイ코리아	金海	マフラーシステム	207
カナダ	マグナ	ウィアマグナパワートレイン	牙山	自動車用Mirror Actuators	24
フランス	ヴァレオ	平和ヴァレオ	大邱	Clutch, Cylinder, Torque Converter	862
		ヴァレオ電装システム코리아	慶州	Starter Motor, Alternator, Distributor	740
		サムスンヴァレオ サーマルシステムズ	昌原	空調システムの部品	247
		PHCヴァレオ	大邱	Torque Converter, Gear Actuator	741
	フォーレシア	フォーレシア코리아	龍仁	マフラー、Exhaust Manifold	579

資料：自動車産業協同組合、Kisvalue

● 外国人投資企業の成功事例：平和ヴァレオ

- 平和ヴァレオは1988年に平和クラッチ工業（株）とフランス最大の自動車部品メーカーであるヴァレオ社の合併により設立された。
 - 1990年12月に100大技術先進化中小企業に指定され、継続的な技術移転や開発、品質向上を重ねて1999年7月には産業資源部が制定した第2回外国人投資企業賞を受賞し、2011年の貿易の日には「2億ドル輸出の塔」を受賞した。
 - 技術力を基盤として韓国はもちろん米国や日本、ヨーロッパの主要自動車企業に直接部品を供給し、クラッチやパワートレイン関連部品といった自動車部品分野で世界的な企業に成長した。
- 平和ヴァレオは製品の製造だけでなく、R&Dや営業活動なども活発に展開しており、多数の研究開発成果を発表している。
 - 2008年には啓明大学と共同で韓国初の商用デュアルメスフライホイール（DMF：Dual Mass Flywheel）とドライダブルクラッチ（DDC：Dry Double Clutch）の開発に成功し、現代自動車や中国の自動車関連企業に供給している。
 - 2015年には関連の産学研究と連携し、自動車変速機の核心的な部品である乾式デュアルクラッチの国産化と量産に成功しており、またそれらはドイツのLUKと平和ヴァレオが世界で唯一成功させた技術でもある。
- ヴァレオは平和工業との合併以来、韓国の文化や地域の特殊性を考慮した協力システムをもとに継続的に成長してきた。
 - 平和ヴァレオはフランス最大の自動車部品メーカーを相手に事業を開始し、海外の取引先を初期段階から確保して技術的な問題などを解決した。
 - 競争の時代に対応するための最も重要な要素は品質競争力であると判断し、継続的な改革や革新を通じてグローバルにおける競争優位の確保に向けて取り組んでいる。
 - 平和ヴァレオは外国人投資誘致や品質経営、経営革新などを通じて2017年には6.6億ドルの売上高を達成し、輸出が売上高の約22%を占めている。

3 政策・立地

3.1 主要政策・インセンティブ

◆ 自動車部品産業の活力向上対策

- 完成車メーカーの業績悪化によって自動車部品メーカーの低迷が続き、韓国政府は健全且つ持続可能な自動車産業の生態系作りに向けた自動車部品産業の活力向上対策を発表した。
 - 産業構造の高度化支援プログラム（3年間90億ドル）、企業構造革新ファンド（9億ドル）を活用して電気自動車、自動運転車のような新成長分野への施設投資など、企業の状況に合わせた支援を推進している。
 - 部品メーカーのグローバル部品市場開拓を支援するため、海外バイヤーの紹介（KOTRA）→R&D・認証（韓国の産業部など）→投資・貿易保険の支援（韓国の産業銀行、貿易保険公社）の段階別支援策を提供する。
- 電気自動車、自動運転車といった未来車の核心部品の開発など18億ドルを投資し、資金や情報の不足で未来車への転換に苦戦している中小・中堅企業の支援R&Dプログラムを強化する。
 - （電気自動車）走行距離の向上（400km→600km）、充電時間の低減（200kW→400kW）とともに核心部品技術の高度化を推進する（4.5億ドル規模の予備妥当性調査を進行中）。
 - （水素燃料電池車）16万kmの耐久性を50万kmに拡大するなど、世界最高水準の水素燃料電池車の技術力を確保する計画である（3.3億ドル規模の予備妥当性調査を進行中）。
 - （自動運転車）電子・通信・ITなどと自動車部品メーカー間の融合・複合技術の開発（カメラ、レーダー、ライダーといった融合・複合センシングやAI基盤の走行制御技術など）やモビリティサービスの実証支援などを推進する（約9億ドル、予備妥当性調査を進行中）。
 - （専門人材）修士号・博士号レベルの未来車開発専門人材の育成事業を、2020年までに現在の7校の大学から11校の大学に拡大し、2022年までに1千人以上の人材を育成する計画である。
- 中小・中堅企業が未来車市場でNew Playerに成長できるよう、未来車市場への参入や需要の拡大を支援する。
 - 中小・中堅企業が委託を受けて完成車を生産する場合、財政・金融・技術開発などを多角的に支援する（雇用支援金、地方投資促進補助金などの支援）。
 - 民間投資を通じて電気バス専門企業の量産と競争力の向上を支援し、自治体-民間ファンド-バス会社間の協力モデルを創出して普及させる。
 - 中小・中堅企業が直接電気自動車を開発・販売できるよう、開放型の電気自動車プラットフォームを開発し（2019~2021年、3千万ドル）、核心部品をモジュール化・共用化して共同購入を通じて部品の単価を引き下げる。

◆ スマート工場の拡散・高度化戦略

- 製造現場の競争力向上に向け、中小・中堅企業を対象に韓国の現状に適した様々な形態のスマート工場の構築・高度化を支援する。
 - 製品設計・生産工程の改善に向けてIoT、5G、ビッグデータなどの先端技術を適用したスマート工場ソリューションの構築やソリューションと連動する自動化装置・コントローラ・センサーなどの購入を支援する（新規構築時に9万ドルを支援）。
 - 既に構築されたスマート工場の活用度や普及水準の向上に向け、既存システムの高度化を図るとともにスマート工場設備連携システムを追加的に構築・連動する（既存システムの高度化に13.5万ドルを支援）。

- 自動車部品産業現場の工程技術、部品の高度化などを支援する。
 - 産業銀行・企業銀行の融資支援を通じて2022年まで中小部品メーカー2千社にスマート工場構築を支援する（年間500社を支援）。
 - 部品メーカー密集地域を中心にスマート産業団地のモデル事業を推進し、内燃機関部品の高付加価値化や受注、技術開発なども支援する。

スマート工場支援事業

事業名	支援の種類	支援内容	政府支援額（企業ごと、最大）
スマート工場の構築・高度化	新規構築	・スマート工場が構築されていない企業にソリューションや連動設備の構築を支援	最大9万ドル （総事業費の50%以内）
	高度化	・スマート工場が構築されている企業にスマート工場の高度化を支援	（基礎）9万ドル （中間1*以上）13.5万ドル
	大中小共生型	・主管機関（大手企業など）が中小・中堅企業と協力してスマート工場を構築する場合、政府が費用の一部を支援	4.5万ドル以内
	パイロット工場	・導入を希望する企業がベンチマークできるパイロット工場の主要拠点構築を支援	27万ドル （2019年に約30個を支援）
	業種別特化	・類似した製造工程を保有する企業のスマート工場における共通特化ソリューションの構築を支援	9万ドル
スマートマイスター	・スマート工場が構築されている企業の現場診断や、構築過程における現場の問題解決を支援	マイスター一人件費（週2日勤務、6カ月間月2.8千ドル）	
スマート化能力の強化		コンサルティング費用（最長6カ月間合計8.6千ドルのうち6.9千ドルを支援、1.7千ドルは企業負担）	

資料：韓国中小ベンチャー企業部

注：スマート工場の段階は基礎段階（生産履歴の追跡管理水準）、中間1段階（生産設備の情報をリアルタイムで集計・分析・活用して意思決定）、中間2段階（親会社とサプライチェーン関連情報を共有、リアルタイムの意思決定・制御の自動化）、高度化段階（IoT、CPS基盤でカスタム型の柔軟な生産）に分けられる

3.2 主要立地

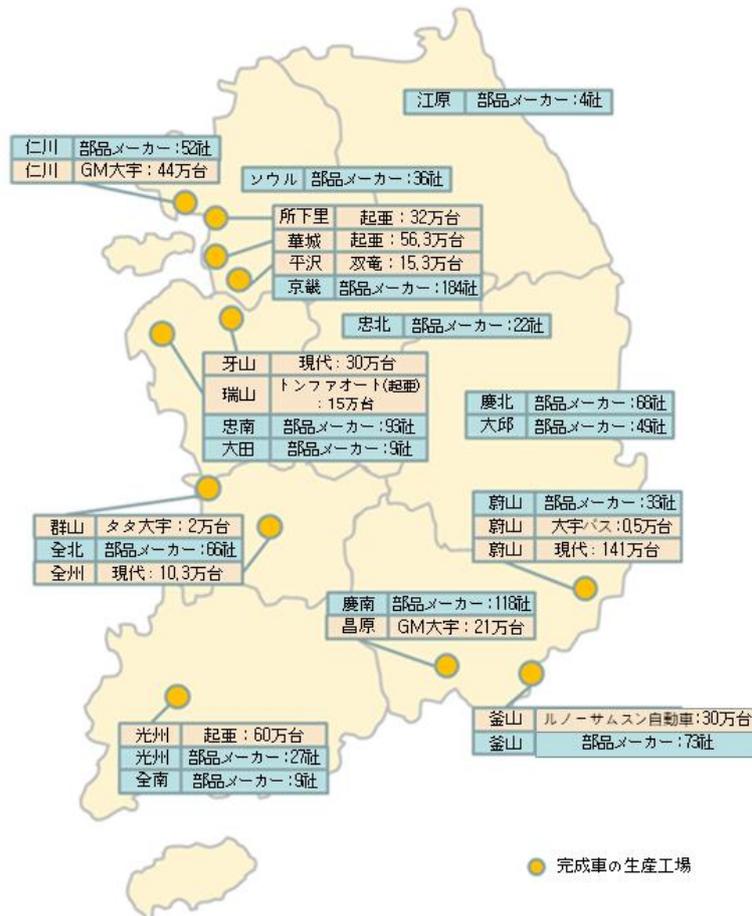
自動車産業立地の現況

- 韓国の自動車産業は全国的に散在しており、各地域で自動車産業が占める割合も高く、雇用の創出や維持など、地域経済の活性化に重要な役割を果たしている。
 - 自動車産業は首都圏をはじめとする西海岸地域クラスター、蔚山を中心とした東南圏クラスター、光州・群山などの湖南圏クラスターに分けられる。
- 首都圏には起亜自動車、韓国GMの完成車工場があり、現代起亜車南洋研究所をはじめとする主要部品メーカーの研究所や工場が立地している。
 - 現代自動車や交通安全公団の自動車安全研究所などの走行試験路及び、自動運転車の実験をする専用の実験都市（K-City、京畿道華城）がある。
- 西海岸地域クラスターに属する忠清地域は、完成車工場を基準として蔚山、京畿に次ぐ韓国第3位の生産能力を有しており、現代モービス（牙山）、DHC（天安）、現代パワーテック（瑞山）など124社の1次協力企業が天安、牙山、唐津地域を中心に密集している。



- 天安には自動車部品メーカーの研究開発、試験、認証、教育、情報提供機能を支援する自動車部品研究院がある。
- 忠清北道地域には、水素燃料自動車関連の燃料電池スタック工場が建てられる予定で、年間4万基のスタックを生産する見通しである。

韓国の完成車工場・1次部品メーカーの分布図



資料：KAICA、完成車各社
注：2018年の生産能力基準

- 湖南圏の自動車産業は金堤・益山・井邑、群山・完州、光州地域につながるベルトを形成しており、現代商用車、タタ大宇、起重自動車などの完成車工場が立地している。
 - 韓国における中・大型商用車生産の約94%を占めており、中・大型トラックは湖南圏で100%生産されているため商用車、特装車、トラクター、農業機械などの関連産業が密集している。
 - 光州には起重自動車が立地しており、SUV / CUVを中心とした生産能力は60万台水準で、2018年には光州型雇用を導入した自動車工場*を誘致し、2021年から軽自動車を生産する予定である。
 - * 光州型雇用モデルを適用した自動車工場。光州型雇用とは、労働者の生活の質を向上させ、雇用の持続可能性を高める労使共生型の社会統合雇用モデルである。
 - 2018年の韓国GM群山工場の閉鎖により年間30万台の生産能力が低下したものの、1次部品メーカーであるMSが群山工場を買収し、2021年から電気自動車を委託生産する予定である。

- 東南圏は韓国最大の自動車メーカーである現代自動車をはじめ、ルノーサムスン自動車や韓国GMなど韓国の主要完成車メーカーはもちろん、337社の1次部品メーカーが立地している。
 - 慶南、蔚山、釜山の3つの地域は緊密な業関係が形成されており、慶南と蔚山は現地調達率が高い方である。
 - 大邱、慶北には車体、意匠、シャシ、パワートレイン、電装関連部品メーカーが立地しており、近くに完成車工場がないため、慶尚南道はもちろん首都圏まで部品を納品している。
 - 長年にわたって自動車生産工場を運営してきたため港湾、輸送インフラ、物流システム、熟練した労働力を有しており、近くに鉄鋼や石油化学、機械工業などの関連産業も発達している。

● 自動車産業の地域特化支援事業

- 技術パラダイムの変化に伴い電気自動車、水素燃料電池車、自動運転車の開発・実用化や核心部品の開発を支援しており、地域の状況に合う産学協業の支援を通じて、地域の潜在力強化や特性発展の相乗効果を狙っている。
 - 大邱・慶北地域は自動運転車関連の技術開発に集中しており、自動運転車の実証実験ができる道路や管制システムなどのインフラを大邱に構築する計画である。
 - 全北地域は商用車の生産基盤を活用して水素商用車の生産拠点を構築し、蔚山は燃料電池、電気自動車の核心技術開発やインフラの構築、忠南の場合は水素自動車部品に特化した支援をする計画である。

4 潜在的なパートナー

4.1 関連企業リスト

企業名	主要品目	ウェブサイト	位置
現代モビス	シャシモジュール、運転席モジュール、電装、ブレーキシステム	www.mobis.co.kr	蔚山、牙山、光州、瑞山、忠州、天安
マンド	ABS、ECPS、ブレーキ装置、ステアリング装置	www.mando.com	板橋、平沢、原州、益山
ハンオンシステム	コンプレッサー、インタークーラー、空調モジュール	www.hanonsystems.com	大田、平沢、蔚山
ソウハイテック	車体部品	www.swhitech.com	釜山、梁山
現代ウィア	変速機、CVジョイント	www.hyundai-wia.com	昌原、安山、平沢、瑞山、蔚山
インジコントロールズ	エンジン冷却システム、センサー	www.inzi.co.kr	始興、慶州、沃川
SL	ランプ、シャシ、ステアリング、パワートレイン、レバー、ドアモジュール	www.slworld.com	慶山
ファシン	シャシモジュール、車体部品、エンジン部品	www.hwashin.co.kr	永川
DY	DCモーター、ワイパー	www.dy.co.kr	仁川、牙山、昌原
S&Tモーターフ	変速機、シャシ、ECU	www.sntmotiv.com	釜山、仁川、昌原、梁山、保寧
ソヨンイファ	ドアトリム、内装部品、シート	www.seoyoneh.com	蔚山、牙山、安養
平和精工	ドアモジュール、ラッチシステム、システムモジュール	www.phakr.com	大邱、牙山、水原
世宗工業	マフラー、浄化装置	www.sjku.co.kr	龍仁、牙山、蔚山
モトニック	エンジン部品、センサー、ロッカーアーム	www.motonic.co.kr	大邱、星州

企業名	主要品目	ウェブサイト	位置
ユラ コーポレーション	ワイヤーハーネス	www.yuracorp.co.kr	清州、平沢、慶州
現代 トランスシス	変速機、アクスル、シート	www.hyundai-transsys.com	牙山、蔚山、瑞山、華城
韓国フランジ	アクスル、フランジ、ハーフシャフト	www.kofco.com	蔚山
現代ケピコ	パワートレイン制御システム	www.hyundai-kefeco.com	軍浦
京信	ワイヤーハーネス、ジャンクションブロック、コネクタ	www.kyungshin.co.kr	仁川、華城、群山
トンヒ	燃料タンク、ループシステム、 アクスルハウジング、電装部品	www.donghee.co.kr	華城、牙山、蔚山、光州
トギャン産業	運転席モジュール、クラッシュパッド、ドアトリム、 コンソール、アンチパッド	www.dyauto.kr	蔚山、慶州、礼山
オステム	スチールホイール、車体部品、シャシ部品、 シート	www.austem.co.kr	天安、仁川
サンシン ブレーキ	ブレーキ部品	www.sangsin.com	大邱
ファスンR&A	ブレーキホース、コンベヤベルト	www.hsma.com	梁山
トゥウォン空調	HVAC、冷却モーター、コンデンサ、 コンプレッサー	www.dwdcc.com	牙山
MANN+HUMMEL コリア	オイルフィルター、エアフィルター、 キャビンフィルター、吸弓システム	www.mann-hummel.com	原州
イレ オートモーティブ	HVACモジュール、ステアリング、コンバータ、 ブレーキ部品	www.erae-automotive.com	大邱、群山、鎭川
テウオン鋼業	コイルスプリング、板スプリング、 スタビライザーバー、シート	www.dwku.com	天安、昌原
オートリブ	エアバッグ、シートベルト	www.autoLiv.com	華城
Samkee オートモーティブ	Head Cover、Oil Pan、 Valve Body、Oil Pump Cover	www.samkee.com	平沢、瑞山
ハンズ コーポレーション	aluminum alloy wheel	www.handscorp.co.kr	仁川、華城
ユソン企業	ピストンリング、シリンダーライナー	www.ypr.co.kr	牙山、大邱、蔚山
韓国端子工業	自動車用コネクタ、Lead Frame	www.ket.com	仁川、平沢、光州
DAEHAN ソリューション	振動、騒音システムエンジニアリング部品	www.dhsol.com	仁川、光州、慶山
ソジン オートモーティブ	クラッチカバー、クラッチディスク、フライホイール、 Clutch Facing	www.secoautomotive.com	始興
ミョンファ工業	エンジンウォーターポンプ、エンジンオイルポンプ、 Input Shaft、Planet Carrier	www.myunghwa.com	安山、蔚山、牙山
クワンジン商工	ドアモジュール、ウィンドウレギュレータ	www.kwangjin-kr.com	光州、華城、慶州
GMBコリア	ベアリング、冷却装置、変速機、ポンプ、 ローラー	www.gmb.co.kr	昌原、瑞山、安養
ウジン工業	酸素センサー、エアヒーター、スパークプラグ	www.ngkntk.co.kr	安山
セントラル	ボールジョイント、コントロールアーム、 スタビライザーリンク、タイロッド、変速機	www.ctr.co.kr	昌原、蔚山、大邱
アジン産業	OBC、PTCヒーター、空調部品、電圧制御機	www.wamc.co.kr	慶山
ウリ産業	ヒーターコントローラー、 燃料センサーアセンブリ、LPM、MPM	www.woory.com	龍仁、大邱、平沢

企業名	主要品目	ウェブサイト	位置
マンドヘラエレクトロニクス	センサー、ECU	www.mandohella.com	仁川
キャステック コリア	Turbin Housing, Center Housing	www.castec.co.kr	釜山、昌原
コダコ	Valve Body, Converter Housing, Throttle Body, Water Pump Housing	www.kodaco.co.kr	天安、安城
コリアFT	Filleneck, Canister	www.kftec.com	安城、慶州
SJM	Bellows	www.sjmflex.co.kr	安山
DIC	変速機Gear	www.dicorp.co.kr	蔚山
大宇部品	Regulator、コンデンサ	www.dwecc.com	井邑、大田
キェヤン電気	DC/BLDC Motor, Power Seat Motor	www.keyang.co.kr	安山、天安

4.2 関連協会

企業名	ウェブサイト	主な活動
自動車産業協会	www.kama.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> 完成車メーカーを代表する団体で、自動車産業の振興に向けた事業活動や自動車産業関連政策・制度の改善に向けた意見の提案 主要国との国際協力、海外通商ネットワークの構築
韓国自動車産業 協同組合	www.kaica.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品業界を代表する団体で、自動車部品メーカーを支援し、政府に対する提案や輸出支援・斡旋など、部品メーカーの世界市場進出を支援
自動車部品 産業振興財団	www.kapkorea.org	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品産業のグローバル競争力確保に向けて設立された民間公益法人 中小自動車部品メーカーの基礎技術関連問題の解決、品質システム確立の支援、経営管理支援、自動車産業全般の情報提供など
自動車 部品研究院	www.katech.re.kr	<ul style="list-style-type: none"> 韓国自動車部品業界の自生力確保や産業の育成に向けた研究開発、試験、認証、教育、情報提供などの様々な支援活動 グリーンカーパワーシステム、スマート自動車技術、素材技術、融合システム、信頼性研究など 地域別研究事業の企画や地域自動車メーカーの技術支援、共同研究を通じた地域における研究能力強化の支援
水素融合 アライアンス推進団	www.h2korea.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> 水素経済政策ロードマップはもちろん、法改正の支援や民間主導の水素生産・供給インフラの構築を支援 水素電気自動車の普及拡大、水素電気自動車・水素ステーションの統計や情報提供、韓国内外における水素電気自動車関連事業に関する企画・調査活動
釜山自動車部品 工業協同組合	www.baica.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> 釜山地域自動車部品業界における組合員同士の技術開発や品質向上を支援 自動車部品産業の活性化に向け、業界関連調査活動や技術教育、輸出、韓国内外の展示会参加支援など
電気自動車協会	www.keva.or.kr	<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車の普及の活性化に向け、海外団体との情報交流や関連産業の調査研究、関連インフラの最適化実現のための方策、普及の拡大に向けた改善策を支援



KOTRA 20-149

Investment Opportunities in Korea

自動車部品

発行所 KOTRA
発行日 2020年2月
電話 (82-2) 1600-7119(代表)
ホームページ www.kotra.or.kr www.investkorea.org

作成 KOTRA投資広報チーム
協調 産業研究院 金景猷 (www.kiet.re.kr)
ISBN 979-11-6490-308-5 (95320)

Copyright © 2020 by KOTRA. All rights reserved.